

**2017(平成 29)年度  
富士山エコレンジャー環境パトロール報告  
普及版**

2018(平成 30)年 6 月

富士山エコレンジャー連絡会

## 富士山憲章

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

### 富士山エコレンジャーを知っていますか

富士山の自然環境を保全する活動に賛同している団体の集まりである「ふじさんネットワーク」の会員であり、富士山にて自然環境保全に係る様々な活動をするボランティアです。

登山マナーの啓発



富士山の自然や動植物の解説

エコレンジャー証明書

ふじさん ネットワーク  
富士山エコレンジャー  
腕章  
この腕章を見つけたら、ぜひ声を掛けてください。

**環境パトロール**

- 1 来訪者へのマナー啓発**  
ごみの持ち帰り 登山道を外れて歩かない トイレはきれいに使用するなど
- 2 来訪者への自然解説等の情報提供**  
富士山の動物・植物 地形・地質 気象 歴史・文化など
- 3 動植物の保護とその情報収集**  
貴重な動植物や森林等の保護活動 保護研究に役立つ情報の収集

活動報告



お願いします!

環境パトロールを通じて

「富士山を訪れる方に、

- ① 自然環境への負荷を減らし
- ② 安全に

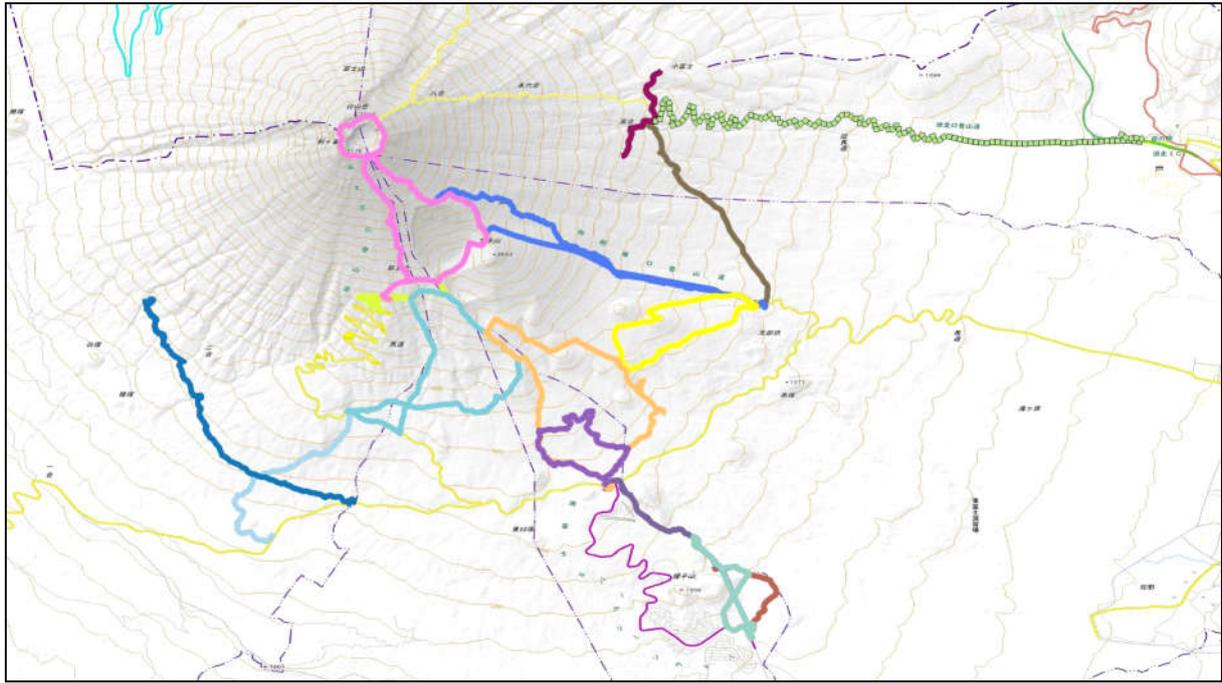
富士山を利用してもらい、

富士山の現状を広く共有する」

ボランティア保全活動

## 1. 2017年度環境パトロール（平成29年4月～平成30年3月）

### 1-1 環境パトロール区間



### 1-2 環境パトロール履歴

2017/04/24	太郎坊トンネル・御殿場口五合目・須走方面(旧ブル道)・山頂送電線
2017/04/28	水ヶ塚・弁当場間須山口登山歩道
2017/05/05	御殿場口五合目・旧ブル道・須走五合目・幻の滝・獅子岩・御殿場口五合目
2017/05/28	高鉢駐車場・ガラン沢・高鉢駐車場・二合目林道・西臼塚・西臼塚駐車場
2017/06/10	御殿場口五合目・幕岩
2017/06/17	旧料金ゲート・ガラン沢
2017/06/24	富士宮口五合目・六合目・宝永火口・樹林帯・五合目
2017/06/30	弁当場・黒塚・湊沢出口・フジバラ平・弁当場
2017/07/02	須走口五合目・小富士・幻の滝
2017/07/08	富士宮口五合目・六合目・宝永火口・樹林帯・五合目
2017/07/15	水ヶ塚・御胎内・御殿庭上(宝永第三火口)・御殿庭下・水ヶ塚
2017/07/19	富士宮口五合目・高鉢駐車場
2017/07/22	須走口五合目・小富士・幻の滝
2017/07/23	須走口五合目
2017/07/28	須走口五合目・幻の滝・小富士・須走口五合目
2017/08/03	高鉢駐車場・日沢・宝永遊歩道・御殿庭上・ガラン沢・高鉢駐車場
2017/08/09	富士宮口五合目・六合目・宝永火口・樹林帯・五合目・高鉢駐車場
2017/08/19	須走口五合目・幻の滝・小富士・須走口五合目
2017/08/20	富士宮口五合目、宝永第二火口縁・須山口登山歩道・水ヶ塚
2017/08/28	御殿場口新五合・二つ塚・幕岩御殿場口新五合
2017/08/30	天子ヶ岳・長者ヶ岳

2017/09/10	御殿場口新五合・7.4合・宝永山馬の背・大砂走り・御殿場口新五合
2017/09/20	富士山さくらの園 県道富士宮・富士公園線
2017/09/23	御殿場口新五合・幕岩・二つ塚・大石茶屋・御殿場口新五合
2017/09/26	富士宮口登山道・頂上お鉢めぐり・御殿場口登山道・宝永火口・富士宮口
2017/09/30	富士宮市根原 静岡県根原有地
2017/10/11	富士宮口五合目・山頂・富士宮口五合目
2017/11/14	二合目林道(スカイライン～深沢)
2018/01/21	弁当場・黒塚・涵沢出口・フジバラ平・弁当場
2018/02/10	水ヶ塚駐車場・須山口登山歩道 1.5合・南山林道・水ヶ塚駐車場

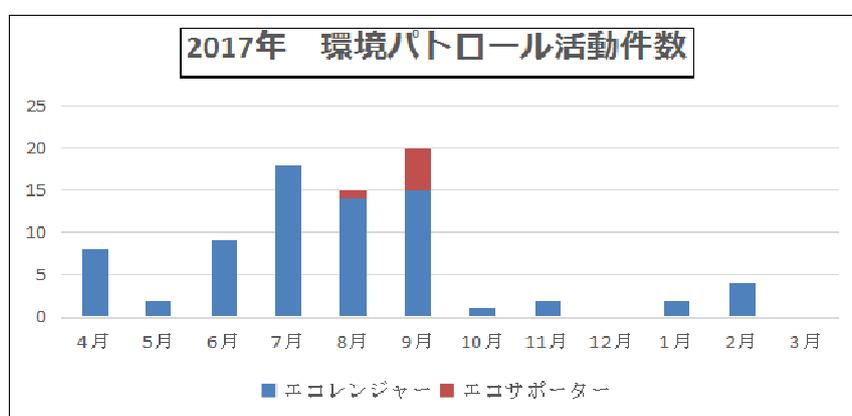
### 1-3 環境パトロール活動状況

- ・活動者数: 14名 (エコレンジャー9名、エコサポーター5名) 2016年度は12名
- ・活動延べ日数 81人日

注) 活動は、提出された環境パトロール関連の報告書のみ集計した。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
活動者数	7	2	5	9	9	12	1	2	0	2	2	0	14
延人日	8	2	9	18	15	20	1	2	0	2	4	0	81

内訳	活動者数	活動延べ日数・回
五合目未満	9名	32人日
五合目以上(山頂なし)	14名	46人日
五合目以上(山頂あり)	3名	富士宮口 2回 御殿場口 1回
(再掲)シャトルバス説明	3名	3人日

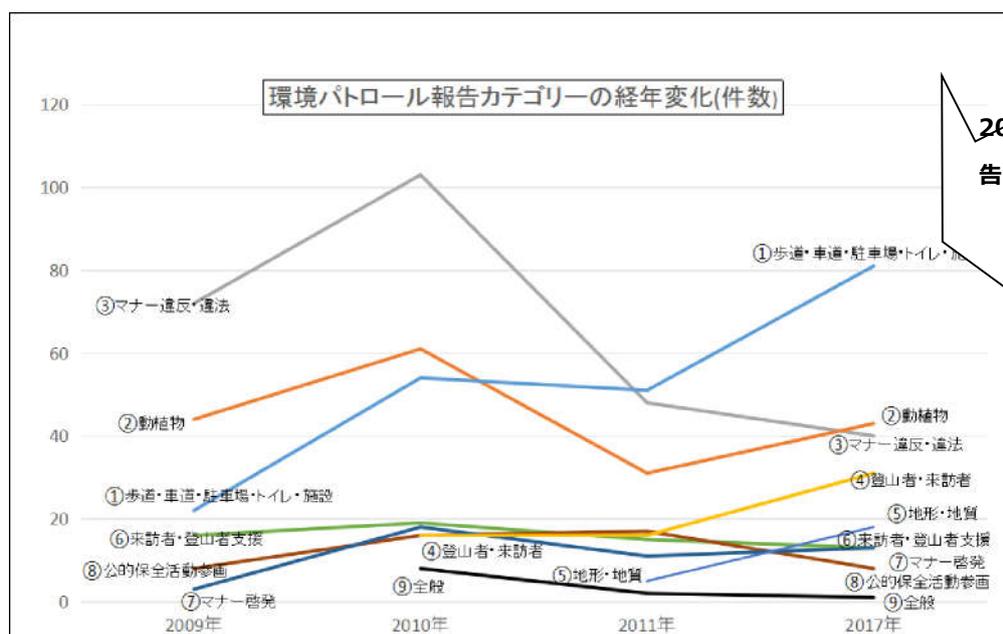
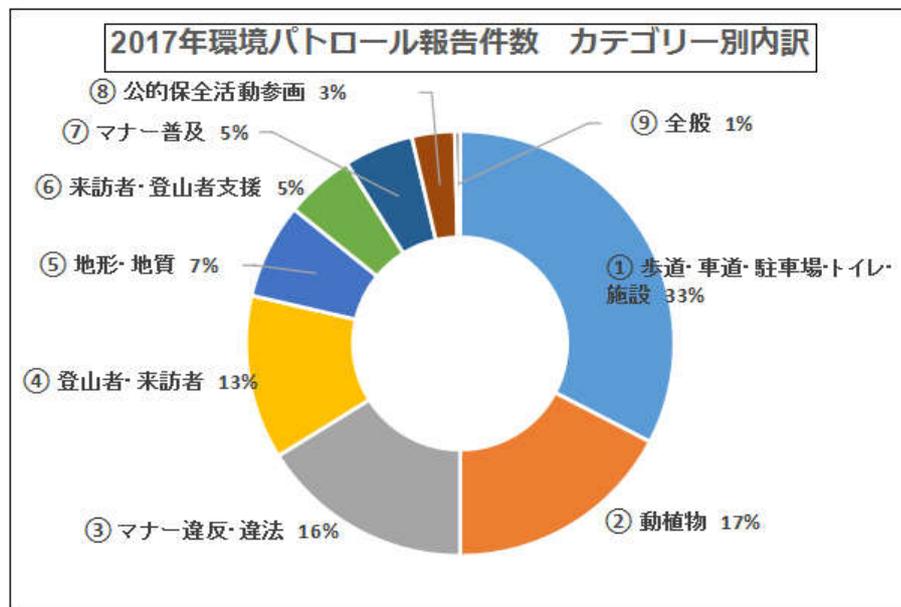


2. 環境パトロール報告内容

2-1 カテゴリー別報告内容

	カテゴリー(活動内容)	件数
①	歩道・車道・駐車場・トイレ・施設	81
②	動植物	43
③	マナー違反・違法	40
④	登山者・来訪者	31
⑤	地形・地質	18
⑥	来訪者・登山者支援	13
⑦	マナー普及	13
⑧	公的保全活動参加	8
⑨	全般	1

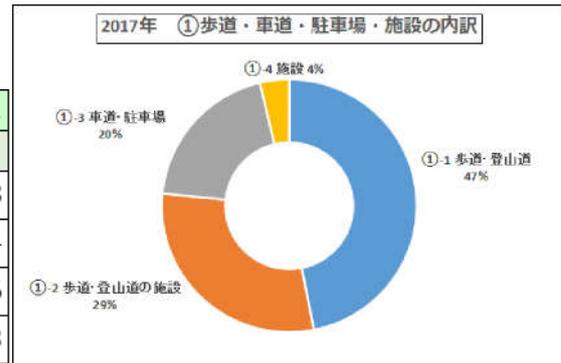
環境パトロール中に、富士山エコレンジャーが「自然環境への負荷」や「来訪者の安全面」で気づいた内容を「気づき」として環境パトロールの報告書に記載した。その「気づき」を、カテゴリー別に集計した。



2017年度に最も報告されたカテゴリー

## ① 歩道、車道、駐車場、トイレ、施設

歩道・車道・駐車場・トイレ・施設		81
サブカテゴリー(活動内容)		
①-1	歩道・登山道	38
①-2	歩道・登山道の施設	24
①-3	車道・駐車場	16
①-4	施設	3



## ①-1 歩道・登山道

- ・歩道ずれ落ちが更に悪化、勾配箇所荒廃がひどく危険箇所がある(4月、1月、須山口)
- ・侵食が進み、谷(日沢)が削られ登山道に迫る。登山者安全のため監視必要(7月、宝永遊歩道)
- ・歩道周辺の侵食拡大(7月、8月、須山口、御殿庭周辺)
- ・幻の滝コース直ぐ上に落石の跡あり。観光客が増える来年5月前に安全確認が必要(7月)
- ・冬シーズンは、歩道を外れ積雪の林内へ入り込む踏み跡が新たな路になる(2月、水ヶ塚周辺)



(4月、危険な須山口大規模トレラン・レース跡)



(同地点、危険なため根をつかみ通過する来訪者)



(7月、日沢を横切る宝永遊歩道)



(7月、年々歩道の侵食拡大、複線化 御殿庭)

## ①-2 歩道・登山道の関連施設

- ・日沢横断箇所でも多数のマーキング・テープが張られ、道迷いが起きそうだった(8月)
- ・道標の摩耗(9月、宝永山馬の背)
- ・登山道でケーブルが露出した箇所が多く、注意喚起が必要(8月、御殿場口)
- ・山頂剣ヶ峰の旧測候所の老朽化が進み、展望台は2011年以降7年続く立入禁止(9月)
- ・頂上剣ヶ峰、馬の背急坂の土砂撒き補修は、頂上以外の環境の土砂を拡散(9月)
- ・外来種侵入防止マット利用の説明は図解で外人にも分かりやすさ必要(8月、須走口)



(8月、日沢横断箇所のマーキング・テープ)



(8月、須走口五合目、マットの利用の説明板)



(9月、摩耗した道標、大砂走り・宝永山分岐)



(9月、御殿場口登り口の荒廃)



(9月、2011年から立入禁止の剣ヶ峰展望台)



(9月、剣ヶ峰急坂の周辺環境とは異なる土砂撒き)

### ①-3 車道・駐車場

- ・開山前の週末は大変混雑、駐車場満車。路肩駐車が多い(7月、富士宮口五合目)
- ・一般車が駐車禁止の第一駐車場へ行き、そこでUターンするので危険(8月、御殿場口)
- ・御殿場口新五合目駐車場の混雑、トレイルステーション推奨のルートによる駐車場滞留(8月)
- ・二合目分岐・深沢間沢の林道崩落により歩行困難箇所あり(11月、二合目林道)



(7月開山前、富士宮口の路肩駐車)

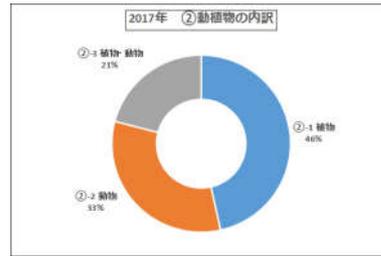


(8月、御殿場口駐車場案内板、推奨コース)



② 動植物

	動植物	43
	サブカテゴリー(活動内容)	
②-1	植物	20
②-2	動物	14
②-3	植物・動物	9



②-1 植物

- ・歩道沿いのスズタケはほとんど枯れ(6月、須山口、2月、水ヶ塚周辺)
- ・1600m 付近のパッチに外来種のタンポポを数カ所で確認(6月、御殿場口周辺)
- ・外来種ハルサキヤマガラシの結実多数(6月、須山口水ヶ塚より下)
- ・歩道複線化や拡幅未対策による植生損傷 (7月、9月、宝永遊歩道)
- ・頂上剣ヶ峰、旧測候所(一夏に数百人が宿泊)の北東側、コケ群落の枯れ(2010年頃から、9月)
- ・頂上北西部で維管束植物を多数確認 (9月)
- ・南麓のまとまったトウヒ属(日本固有種)林分は、今後とも保護が必要(11月)
- ・林内に枯損木多数 入林時ヘルメット必要(2月、休養林、水ヶ塚周辺、須山口登山歩道)



(6月、結実した外来種ハルサキヤマガラシ)



(7月、宝永遊歩道、複線化による植生損傷)



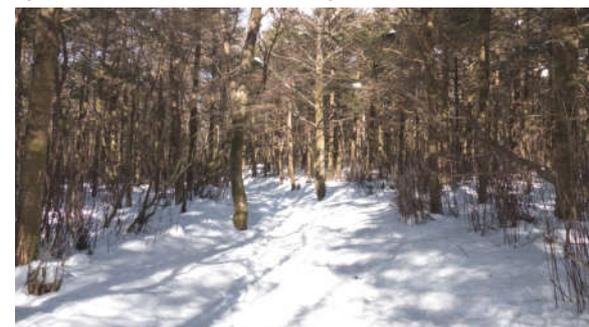
((9月、頂上北西部に数多い維管束植物)



(日本固有種のトウヒ属林)



(2月、水ヶ塚周辺、枯木が多い林内への踏み跡)



(2月、枯れてしまったスズタケ、水ヶ塚周辺)

### 剣ヶ峰北東部のコケ類の枯れ

富士山頂のコケは、静岡大学の増沢先生によって「永久凍土が育てる小さな『森』」として美しい写真とともに紹介され(富士山2005、山と渓谷)、山頂にも緑豊かな「森」があることが知られるようになった。冬の低温、強風、乾燥した極限の世界でも生息するその強靱な生命力に感動する。永久凍土が育てるコケの群落は、長い時間をかけて頂上にたどり着いた来訪者へ最高の恵だ。また、剣ヶ峰周辺では、南極でよく見られるコケとラン藻の共生など観察され、富士山頂は南極と同じような環境が存在する特別な場所だ。富士山の概ね標高2,500m以上は、国立公園内でも厳正な保護を図るエリアである特別保護地区に指定されている。

保護に特別な注意が払われている山頂の極限環境に生育するコケ類に2010年以降、変化が見られるようになった。とりわけ、剣ヶ峰周辺の旧測候所周辺のコケ群落が枯れている。旧測候所の北東側では、2005年以降、2010年ごろから、岩の下部を中心にコケ類が枯れ、被植が減ってきた。御殿場口頂上では、コケ類の枯れは目立たない。



(2017年9月、剣ヶ峰コケ群落の枯れ)



②-2 動物

- ・アマツバメなど野鳥が少ない。春先から天候不順で繁殖に影響か(7月、宝永火口周辺)
- ・カヤクグリがあまりいない(7月、須走口五合目)
- ・保護が必要なカエル類
- ・ツキノワグマ出没(6月、黒塚。12月、水ヶ塚周辺の自然休養林)
- ・ミヤマサクラに比較的新しいクマが登った痕跡(7月、富士宮口五合目・高鉢駐車場間)
- ・人慣れして逃げない野生のニホンジカ(7月、水ヶ塚・御胎内)



(保護が必要なカエル類)



(12月、水ヶ塚周辺の休養林の「熊出没注意」)



(7月、人を見ても逃げないスマートディア、水ヶ塚)

生態系への影響を考慮したニホンジカの適正密度は3~5頭/km<sup>2</sup>程度といわれている。一方、静岡県が調査した富士山国有林のニホンジカ推定生息密度(平成25年度~27年度調査)は、62頭/km<sup>2</sup>。「シャープシューティング」や「くくり罠」など使った個体数調整が行われているにもかかわらず、環境パトロールで、出会う機会が多い。

②-3 動物による食害

- ・シカと思われるフジアザミの根を食べた痕跡(5月、太郎坊トンネル)
- ・ニホンジカの食害、樹皮はぎ、倒木が心配(4月、須山水ヶ塚より下)
- ・イノシシ根の掘り返し(9月、御殿場口周辺。2月、須山口)



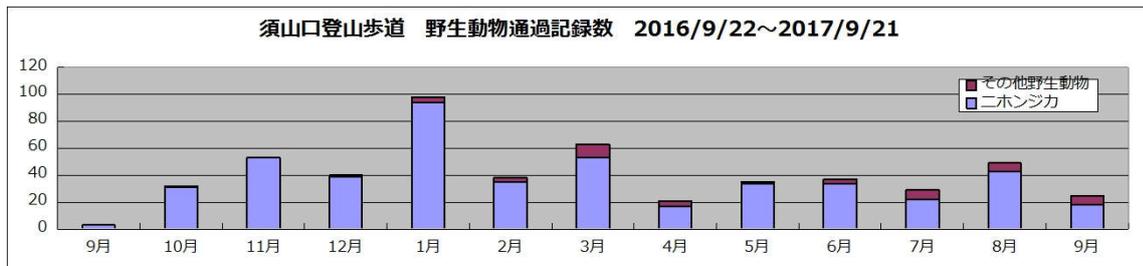
(4月、水ヶ塚より下、ニホンジカの樹皮はぎ)



(2月、須山口、イノシシ根の掘り返し)

②-4 須山口での野生動物通過調査

2016年9月から2017年9月まで、須山口登山歩道の御釜塚北東で野生動物の通過を記録した。その総数は、約500個体(上り、下りの合計)で、その9割はニホンジカだった。ニホンジカの通過数は突出して多い。歩道周辺でも樹皮剥ぎや枯木、倒木、ササの枯れが目立ち、生態系へ影響が懸念される。また、シカみちが多く、踏み跡は侵食を起こし、土砂流出の懸念がある。その他の野生動物では、ニホンアナグマ、キツネ、テン、ノウサギ、イノシシなどが記録された。今年度は、イノシシによる根の掘り返しが数か所で確認された。



(2016年9月から2017年9月までの1年間の野生動物の通過数)



(ニホンジカ オスの成獣)



(生後間もないニホンジカ)



(ニホンアナグマ)



(イノシシ)



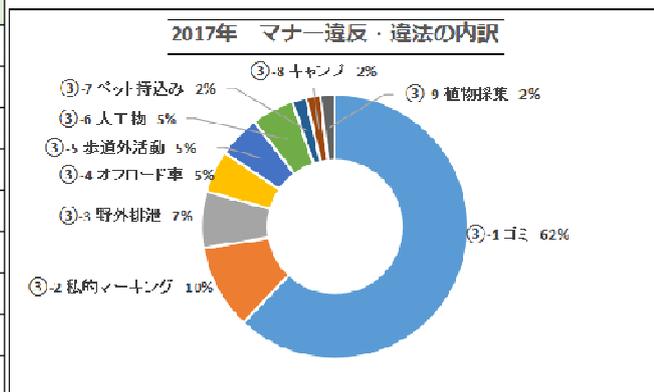
(キツネ)



(テン)

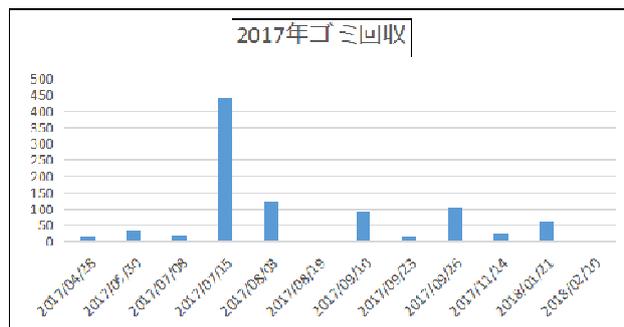
## ③ マナー違反、違法

マナー違反・違法		40
サブカテゴリー(活動内容)		件数
③-1	ゴミ	36
③-2	私的マーキング	6
③-3	野外排泄	4
③-4	オフロード車	3
③-5	歩道外活動	3
③-6	人工物	3
③-7	ペット持込み	1
③-8	キャンプ	1
③-9	植物採集	1



## ③-1 ゴミ

- ・歩道に沿って多数ビニール紐が残置(7月・8月、須山口の水ヶ塚より上)
- ・休業中の山小屋周辺に多数のゴミ(9月開山中、御殿場口)
- ・駐車場にペットボトル、お菓子袋、缶コーヒーの空き缶など(10月、富士宮口)
- ・英語表記のゴミがまとまって残置(1月、須山口・黒塚周辺)
- ・「富士山クリアアップ登山大作戦」参加者によると、登山道にゴミは少ない(7月、須走口)



(9月開山最終日、回収したゴミ、御殿場口)

## ③-2 私的マーキング

- ・大量の残置マーキング(テープ、ビニール紐)(7月、8月、御殿庭周辺)
- ・残置マーキング(テープ、ビニール紐)が樹木の幹に食い込んだり、解れて枝に絡みつくと(同上)
- ・公的調査で未認定の遺跡への簡易道標が木に付けられている(8月)
- ・岩に記された行き先不明の「矢印」(9月、宝永山、御殿場口)
- ・枯木が多く危険な林内へ、歩道を外れて誘導するビニール・マーキング(2月、水ヶ塚周辺)
- ・「道標が整備された登山道では、私的マーキングは不要。目的地や設置者名がないマーキングは、今夏の「須走口矢印騒動」と同じで、危険」と来訪者へ説明(8月、御殿庭)

「須走口矢印騒動」 2017年7月、須走口登山道本7合目周辺で、「ウソの矢印」が数十箇所確認された。この矢印は、登山者を誤った方向に導き事故を招きかねなかった。8月に、静岡県、山梨県などの関係者約30名によって、このニセ矢印は消された。



(7月、須山口登山歩道の御殿庭、テープ残置)



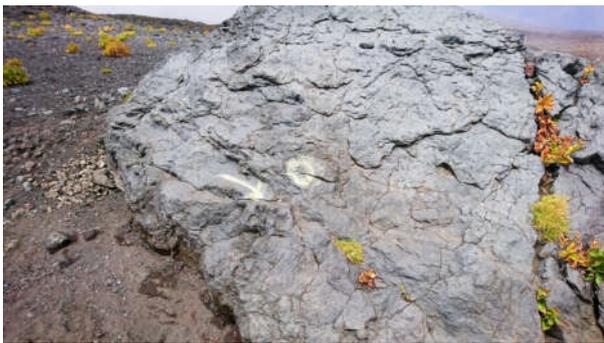
(7月、御殿庭、テープ食い込み)



(7月、宝永遊歩道、歩道外への私的道標と踏み跡)



(8月、未認定遺跡への私的道標)



(9月、御殿場口、行き先不明の「矢印」)



(2月、水ヶ塚周辺、歩道を外れ林内に誘導)

### ③-3 野外排泄

- ・宝永第一火口底の休息地(7月)
- ・御殿場口新六合、七合の休業中の小屋周辺、宝永山馬の背(9月)
- ・富士宮口、9.5合小屋脇、頂上公衆トイレ脇、御殿場口頂上小屋脇(閉山期間中の9月末)





(7月、宝永第一火口底の休憩地)



(9月開山期、御殿場口七合、休業中の小屋前)



(9月閉山後、富士宮口登山道)



(9月閉山後、頂上公衆トイレ脇)

### ③-4 オフロード車

- ・バギー車二台の轍(4月、御殿場口周辺)
- ・1500m 付近バイク 2、3 台の新しい轍(5月、御殿場口周辺)
- ・バイク侵入(5月、御殿場口周辺)

### ③-5 歩道外活動

- ・歩道を外れたキノコ採り (6月、高鉢駐車場周辺)
- ・登山道を外れて植生の中を上側の二子山に登頂する二人連れ(9月閉山期、御殿場口)

### ③-6 人工物

- ・小富士頂上付近の石積み(8月、須走口)
- ・旧スキー場のブロック残骸、古タイヤ群(9月閉山期、御殿場口周辺)
- ・記念碑の崩壊進む(9月閉山期、御殿場口周辺)
- ・剣ヶ峰の旧測候所観測鉄塔への旗(タルチヨ)設置(9月閉山期、頂上)
- ・「石積みアート(ロック・バランシング)」10基以上(9月閉山期、国立公園特別保護地区)



(8月、須走口小富士の石積み)



(9月、御殿場口二子塚の記念碑崩壊進む)



(9月閉山期、剣ヶ峰観測鉄塔のタルチヨ)



(9月、国立公園特別保護地区の「石積みアート」)

#### ④ 登山者・来訪者

- ・観光客の苦言「駐車場周辺の看板目立たないように」(6月、御殿場口)
- ・来訪者の苦言「富士山が世界遺産であることを考え活動しているカイドはいるのか」(同上)
- ・来訪者の苦言「保全協力金の意味が分らない」(8月、御殿場口)
- ・開山前にもかかわらず山頂を目指す多数の登山者(7月開山前、富士宮口)
- ・閉山後も山頂を目指す多数の登山者(9月、富士宮口、御殿場口)
- ・強風中、新7合目から下山者2名、軽装の外国人4名、登山中の男性(10月閉山期、富士宮口)
- ・開山前、六合目に行く途中で、軽装、サンダルの家族連れが目立った(7月開山前、富士宮口)
- ・スーツ姿の登山者(9月、御殿場口)
- ・荒れた歩道を利用する20人程度のトレイルラン・グループ(7月、御殿庭周辺)
- ・子供が全員ヘルメット着用のグループ(同上)
- ・ヘルメット着用者は、女性1人、子供2人のみ(8月、御殿場口)
- ・田子の浦からの登山者、西臼塚からの登山者、水ヶ塚からの外国人グループ(8月、須山口)
- ・下山道の間違える外国人が目立つということを耳にした(8月、須走口)
- ・幻の滝コースは来訪者なし、小富士コースは若いカップルのみ(7月、須走口)
- ・家族連れをふくめ富士山登山コースは多数いたが、二子山コースは皆無(8月、御殿場口)
- ・協力金徴収係(JTB委託)と会話「協力金は来訪者の7、8割が協力。他より良いのでは」(同上)
- ・路線バスで来た人は下車するバス停が「登山道入口」のため協力金をはらう機会がない(同上)
- ・侵食により不安定な足場で、疲れて歩行できない来訪者(8月、自然休養林宝永・水ヶ塚間)
- ・荒れた危険な狭い歩道を度々自転車グループが通過(須山口、水ヶ塚より下)
- ・スノーボード、スノーシュー、ソリの冬期来訪者が一定数いる(2月、須山口水が塚より上)



(7月開山前、富士宮口、閉鎖中の下山者)



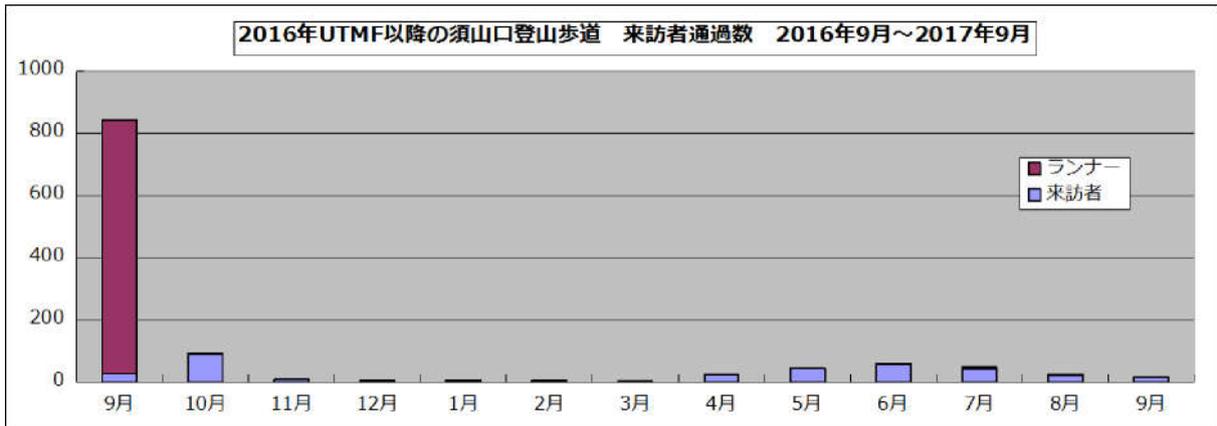
(7月、御殿庭、トレイルランのグループ)



(7月、荒廃した須山口登山歩道の自転車グループ)



(9月、御殿場口旧六合目、スーツ姿の登山者)



(須山口登山歩道の御釜塚で計測した年間来訪者通過数、総数約 1,200 人)

⑤ 登山道周辺の地形・地質変化

- ・雪が多く雪崩の跡、ここ数年見られない地形の変化(4月、御殿場口)
- ・高鉢駐車場からガラン沢までの4箇所沢の荒廃が進んでいる(5月)
- ・来訪者が「宝永第一火口で落石を目撃した」。目につく注意表示が必要(7月、富士宮口)
- ・スラッシュ雪崩による砂礫が堆積(7月、御殿庭周辺)
- ・日沢が荒れている。土石流が頻繁に発生し、沢幅が広がっている(8月、自然休養林歩道)
- ・宝永沢や大砂走りの大きな侵食(9月、開山期、御殿場口)
- ・幕岩下流の砂沢右岸の崩落斜面が拡大(9月、幕岩周辺)
- ・頂上剣ヶ峰東側の崩壊が進み、大きな岩がお鉢めぐり歩道へ落下(9月開山期、頂上)
- ・二合目分岐・深沢間 沢の自然侵食進む(11月、2合目林道)
- ・大雨の影響か、レースで利用した歩道直下の崩壊崖の崩落進む(1月、須山口)



(8月、日沢、自然休養林歩道の横断箇所)



(9月、御殿場口大砂走りのエグレ)



(9月、幕岩周辺の崩落斜面拡大)



(9月、頂上剣ヶ峰東側の崩壊が進む)



(11月、二合目林道の歩行困難箇所)



(1月、須山口、歩道直下の崩壊崖の崩落進む)

#### ⑥ 来訪者・登山者支援

- ・歩道の荒廃状況を説明し、歩行に注意するよう呼びかけ(4月、須山口)
- ・入山者に自然解説(6月、御殿場口)
- ・参加者高山病リュック救護(7月、須走口)
- ・体調不良者の救援支援(8月、須山口)
- ・自然観察会トラブル発生時に、別行動の案内役をつとめフォロー(同上)

#### ⑦ マナー普及

- ・マナーガイド「富士山に登る人のために」の配布拡充必要(7月、8月、富士宮口、水ヶ塚)
- ・シャトルバスでマナー伝達は、ビデオ上映があれば説明しやすくなる(7月、8月、須走口)
- ・「富士山クリーンアップ登山大作戦」は、年度初めに Web 広報したほうがよい(須走口、7月)



来訪者へ「尖った先端は、登山道を傷め、崩落につながったり、周囲の人への凶器となり、樹林帯では歩道脇の植生を傷つけるおそれがあるので、ストックの先端にはキャップを」とお願いし、ゴミとして回収したキャップを差し上げ、感謝される(9月、御殿場口登山道)

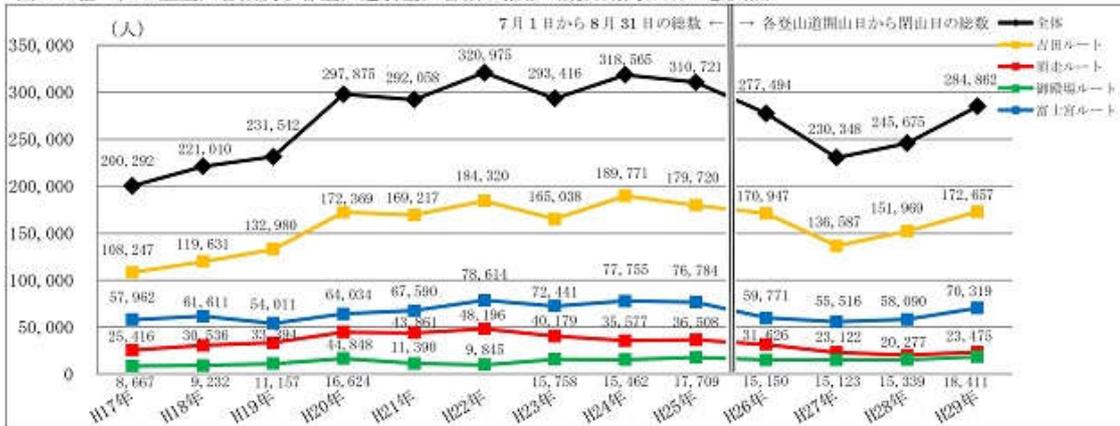
#### ⑧ 公的自然環境保全活動参画

- ・大規模トレイルランレース意見交換会参加(4月、8月、9月)
- ・静岡県の登山道保全調査に参加(8月、天子山系)
- ・静岡県の富士山麓外来植物などの分布調査に参加(9月、県道富士宮・富士公園線)

### 3. 参考外部データ

#### 3-1 登山者数(環境省)

図1：富士山の全登山者数及び各登山道別登山者数の推移（集計期間は※1を参照）



※1：平成17～25年は7月1日～8月31日

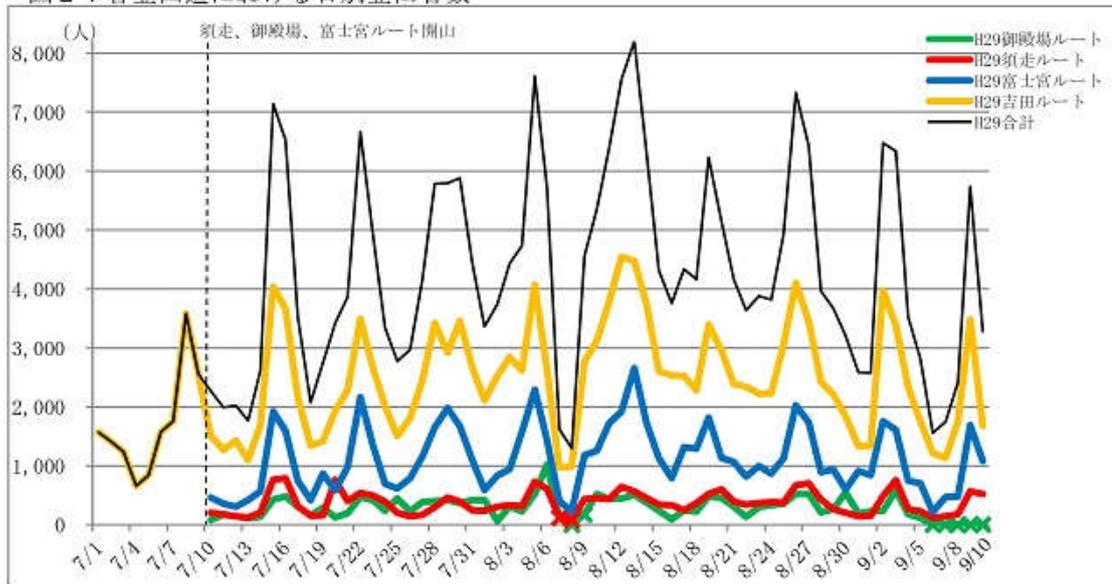
平成26、27年は吉田ルート（7月1日～9月14日）、須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルート（7月10日～9月10日）

平成28、29年は吉田ルート（7月1日～9月10日）、須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルート（7月10日～9月10日）

※2：平成26年は雪のため、御殿場ルートについては7月10日に六合目まで開通（全線開通は18日）、富士宮ルートは7月10日に八合目まで開通（全線開通は18日）

※3：集計期間の変更に伴い過去登山者数を精査した結果、過去公表した数値のうち、平成20年須走ルート登山者数を修正（誤：52,323 → 正：44,848）

図2：各登山道における日別登山者数



※1：8月7、8日は台風による荒天のため、登山者が少なかった。スバルライン(吉田ルートへの接続道路)も荒天のため一時通行止め

※2：図中の×印の日はデータが終日または一部欠測（詳細な欠測期間はP7参照）

3-2 富士山山岳遭難事故(静岡県警)

山岳遭難事故(平成 29 年)

区分	発生件数 (件)	総数	事 故 者 ( 人 )					
			死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	
					重傷	軽傷		
富士山	富士宮口	49	50	1		10	14	25
	須走口	9	12				3	9
	御殿場口	11	11	2		2	1	6
	その他	2	2					2
	小計	71	75	3		12	18	42
	前年比	-15	-17	-1	±0	+1	-2	-15

区分		富士山
合計		71
転倒	スリップ	17
	バランス崩し	7
	つまづき	2
	不明	1
	小計	27
発病	高山病	14
	心疾患	2
	低体温症	2
	脳疾患	
	熱中症	
	その他	4
小計	22	
滑落	スリップ	
	バランス崩し	1
	つまづき	
	強風	1
	技能未熟	
	不明	2
	小計	4
疲労	体力不足	9
	古傷	2
	小計	11
道迷い		5
転落		
悪天候		1
不明		
その他		1

(様態別)

区分	富士山
合計	71
1月	3
2月	1
3月	
4月	1
5月	1
6月	
7月	20
8月	30
9月	13
10月	2
11月	
12月	

(月別)

区分	富士山
合計	71
登山	10
ロッククライミング	
ハイキング	
観光登山	59
野草採り	1
溪流釣り	
写真撮影	
狩猟	
業務	1

(目的別)

区分	富士山
合計	75
60歳以上	25
10歳未満	1
11～19	9
20～29	13
30～39	8
40～49	11
50～59	8
60～69	6
70～79	15
80歳以上	4

(年代別)